

第36回Tonomachi Café（オンライン）を開催いたしました。

2021年6月17日（木）18：00～19：35

テ　マ：冬眠様の状態を誘導する神経回路の発見とその応用

講　師：筑波大学 医学医療系 櫻井武 教授（国際統合睡眠医科学研究機構 副機構長）

企業紹介：（公社）日本アイソトープ協会 アイソトープ部研究開発課長 脇谷雄一郎 氏

●参加者：31名（56名申込）

今年度第1回目となる第36回Tonomachi Caféはオンラインで開催され、市内外の企業関係者26名の他、大学、国立研究開発法人、病院の関係者等が参加した。

講師の櫻井教授からは、マウスの実験で見られる冬眠様の状態の特徴や、その状態が神経細胞（Qニューロン）の回路によって誘導される現象、またその現象を医療等に応用する可能性について紹介された。参加者からは冬眠と外気温との関係性、冬眠から覚醒する際に考えられる問題、低体温症の機序、Qニューロンの特性等について質問が寄せられた。

また企業紹介では（公社）日本アイソトープ協会の脇谷氏により日本のアイソトープ治療と研究のあらましから川崎技術開発センターの事業内容までが紹介され、参加者からは共同研究の可能性に関する質問が寄せられた。